

設備配管劣化調査診断

・設備配管類(衛生・空調等)は一般的な目視・触診では**現状把握が不可能!**

なぜならば...

- ①配管内部から腐食劣化 → **見れない**
- ②保温材に覆われている → **見れない**
- ③現物が**見れない**(天井内・床下に設置)

ゆえに必要なに応じた検査を実施

●X線透過検査

- ・内視鏡検査
- ・超音波肉厚測定
- ・水質分析
- ・抜管検査(破壊検査)

現状把握(各種検査)を実施することで



配管の**継続使用可否、更新時期の目安**が判明

コスパの最適化を実現可能

●X線透過検査の画像および解析サンプル



⇒ 20年以上継続使用可能



⇒ 7年程度で貫通孔が発生

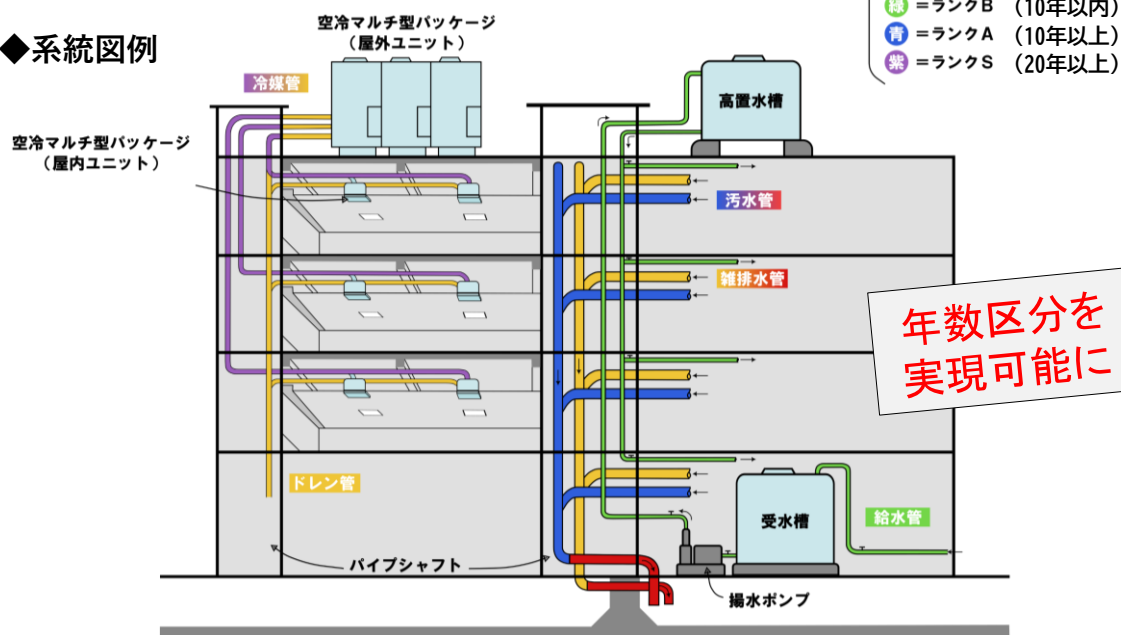
画像解析により**高精度に侵食幅を算出**
推定残存寿命が判明

本技術はSSKファシリティーズ 株式会社が
保有する特許技術**SPT配管診断®**となります

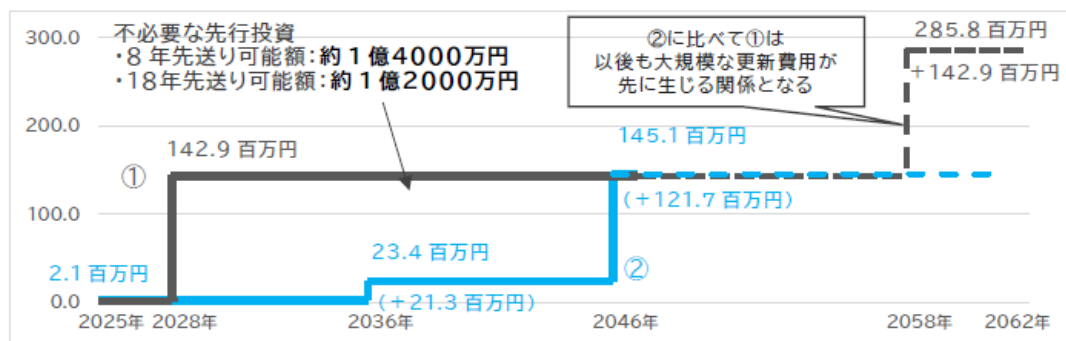
推定残存寿命がわかることで？

更新改修工事の必要/不要が明確になる

◆系統図例



◆累積コスト比較 (デジタル庁HP: R6年度技術検証事業報告抜粋)



① 全面改修工事費

② 配管診断結果に基づく更新工事費

①. 過剰な工事を防ぎ、**配管の製造・排気量を抑制**

②. 改修更新工事の**規模低減・コスト縮減**

③. 施設関係者への**経済的負担・利用制限の軽減**